

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2004-518154(P2004-518154A)

【公表日】平成16年6月17日(2004.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2004-023

【出願番号】特願2002-510581(P2002-510581)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/029 (2006.01)

B 2 9 C 67/00 (2006.01)

C 0 8 F 2/46 (2006.01)

C 0 8 G 59/68 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/031 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/029

B 2 9 C 67/00

C 0 8 F 2/46

C 0 8 G 59/68

G 0 3 F 7/004 5 0 1

G 0 3 F 7/031

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月13日(2008.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (a) 成形品に対し多光子硬化性組成物を適用する工程であって：該組成物が硬化性種及び多光子光開始剤系を含んで成る工程；

(b) 前記成形品上に構造を形成するべく多光子硬化性組成物を少なくとも部分的に硬化させる工程；

を含んで成る、構造の製造方法。

【請求項 2】 少なくとも 1 つの微視的造形部をもつ表面を有する、1 つの物品に構造を付加する方法において：

(a) 造形部に対し多光子硬化性組成物を適用する工程であって、該組成物が：

(1) 硬化性種；及び

(2) 多光子光増感剤及び電子受容体を含む多光子光開始剤系を含む、工程；

(b) 構造を形成するべく多光子硬化性組成物を少なくとも部分的に硬化させる工程、を含んで成る方法。

【請求項 3】 光ファイバに構造を付加する方法において：

(a) 光ファイバに対し多光子硬化性組成物を適用する工程であって、該組成物が：

(1) 硬化性種；及び

(2) 多光子光増感剤及び電子受容体を含む多光子光開始剤系を含む、工程；

(b) 構造を形成するべく多光子硬化性組成物を少なくとも部分的に硬化させる工程、を含んで成る方法。

【請求項 4】 基材上に回析格子を製作する方法において：

表面上に多光子硬化性組成物を適用する工程であって、該組成物が；

硬化性種；及び

多光子光増感剤及び電子受容体を含む多光子光開始剤系を含む、工程；及び  
構造を形成するべく多光子硬化性組成物を少なくとも部分的に硬化させる工程、  
を含んで成る方法。

【請求項 5】 多光子硬化された材料でキャビティを充填する方法において；

硬化性種及び多光子光開始剤系を含む多光子硬化性組成物を提供する工程であって、前  
記多光子光開始剤系が多光子光増感剤及び電子受容体を含んで成る、工程；

キャビティを有する基材を提供する工程；

多光子吸収をひき起こすのに十分な光源に対し多光子硬化性組成物を露光する工程、  
を含んで成る方法。

【請求項 6】 歯を修復する方法において；

歯に対し多光子硬化性組成物を適用する工程であって、該組成物が；

硬化性種；及び

多光子光増感剤及び電子受容体を含む多光子光開始剤系を含む、工程；

多光子硬化性組成物を少なくとも部分的に硬化させる工程、  
を含んで成る方法。